

第 3539 図

いばら科



第 3540 図

いばら科



第 3541 図

いばら科



ひめごよういちご

一名とげなしごよういちご

*Rubus pseudo-japonicus Koidz.*

北海道、本州中北部亜高山帯の森林内の半陰地に生ずる匍匐性の落葉亜灌木で一見草本状を呈する。長枝はゴヨウイチゴより細く初め直立又は斜上し、後倒伏して、地上を匍い、これより更に短かい花枝を立てる。全般に刺はなく、葉柄、葉脈と共に軟毛を稍密に生じ、疎に葉を互生する。葉には長葉柄を具え、鳥趾状の5個の小葉を有し、各小葉は菱状狭倒卵形で、先端は細く尖り、基部は狭楔形をなし、葉質は薄く、縁辺に鋭い重鋸歯を具える。初夏の候、花枝の頂に細梗を伸して白色花を點頭して開く。萼裂片は5個、先端は花後に反曲し、花弁は狭卵形鈍頭、長さ約1cm許ある。果実は紅熟し、小核果の粒はやや大形である。

ひめかじいちご

*Rubus medius O. Kuntze.*

南関東の丘陵に稀に生ずる半灌木で高さ1.5m、地下に匍枝が走り、広い面積に散生する。概形はカジイチゴに類するが、該種とニガイイチゴとの一代雑種と考えられ、不登性である。枝には刺を生じ、葉は掌状でありながら中央裂片が大きくなり、多少羽状の趣を示し、殊に梢部の葉では卵形で側裂片の小さい3裂葉となり、葉の裏面には僅かながら白霜を帯びる。また花は小形となり、萼が基脚から開出せず、短かいながら鐘形の筒があるなどの諸点はみなニガイイチゴから導入されたものである。

はちじょうくさいちご

*Rubus Nishimuranus Koidz.*

(=*R. hachijoensis Nakai*)

図は伊豆伊東産の自生品を描いたが、これと大同小異のものが各地に産し、関東から九州に亘り、南は小笠原に及び、恐らくはクサイチゴとカジイチゴとの一代雑種であって、しかも多くは不登性であるから、各地のものは皆夫々独立に生じた疑がある、という説がある。葉が多型で、主脈が鳥趾状の分枝をなし、これに葉肉の欠刻の程度が種々に関連するので、鳥趾状5小葉のものから単葉まで著るしく変異に富む。茎の刺は少ないが丈は低くなる。若枝には紅色の密生した腺毛がある。花は却って兩種より大型で径4cm位。花数は3-4、本年枝の先端に繖房的の岐繖花序につく。和名は伊豆七島中の八丈島に最初見出されたのに因る。

ながばもみじいちご

一名ながばきいちご

*Rubus palmatus Thunb.*

(=*Rubus palmatoides O. Kuntze*)

モミジイチゴと同一種に属し、関西の山野に普通に生ずる落葉小灌木で朝鮮、中支にも分布する。葉は無毛で刺を多く生じ、高さ1-2m許、長枝より短い花枝を多数分つて、その頂に1花を側下方に向けて開く。葉は長柄があって互生し、幼時は茎と共に軟毛があるが、後無毛となる。葉身は狭卵形又は卵形、3-5裂し、5裂の場合は下部の裂片は小形、長さ5-7cm許、頂裂片は細長く鋭頭、基部は截形又は浅い心臟形、縁辺に不齊鋸歯がある花は径3cm許あり、下向して開き、両面脈上に絹状伏毛がある。花期は4-5月頃、5萼片5花弁があり、核果は黄橙色。

ひろらどいちご

*Rubus corchorifolius L. fil.*

本州の駿河以西、九州、朝鮮、支那に分布する落葉灌木。全株に氈毛が密布して、手にふれて滑らかな感がある。茎に刺を散生し、2-3回長枝を分岐し、それより2-3葉を互生する短枝を生じ、4月頃その頂から側下方に向けて1花を開く。葉には長柄があり、狭卵形又は3角状卵形をなし、先端は鋭尖、基部は心臟形、或は截形、縁辺に不齊鋭鋸歯があり、葉の表面に氈毛密布してピロード状の光沢を有し、淡緑色を呈する。葉は屢々浅く3裂し、側裂片は小形で葉底部より直角に横方に出る。花は白色、萼裂片は5個、3角状披針形、内外共氈毛あり、花托は有毛、花弁は5個、鈍頭卵形、長さ1cm許、花後鮮赤色の果実を生じ、小核果には短毛が密生する。

とっくりいちご

*Rubus coreanus Miquel*

(=*R. Tokkura Sieb.*)

朝鮮及び支那原産の落葉灌木で、時に庭園に植栽される。高さ1-2m位に達し、多く枝を分つて直立し、無毛、刺は太く扁平で先端は下方に鈎曲し、花枝に数葉を互生する。葉は質稍厚く、小葉は5-7個、初めは両面白色綿毛に覆われるが、後無毛又は下面に隆起する脈上のみすすこしく毛があり、小芒に終る不齊重鋸歯を有する。側小葉は卵形鋭頭、基部円形又は鈍形で左右やや不同、頂小葉は側小葉より大形で、菱形卵形をなし、基部は円形である。葉柄はやや長く中軸と共に下面に小刺が列生する。夏に密毛のある繖房花序を頂生し、小白花数個を着ける。萼裂片は5個、披針形、反曲し、花弁は5個萼片より短かく、直立し、倒卵形、長さ5mm許ある。核果は球状に集り、やや粗大で赤熟する。

第 3542 図

いばら科



第 3543 図

いばら科



第 3544 図

いばら科

